

社会福祉研究・実践における「エピソード記述」の可能性

「エピソード記述」は、発達心理学の領域において提起された質的アプローチの方法論のひとつです。私たちは、同志社大学社会福祉教育・研究支援センターの第3期プロジェクト（2014-16年度）として、「エピソード記述」を社会福祉領域において応用する可能性や意義について研究会を開いて議論してきました。この報告会では、この方法論の提起者である鯨岡峻先生にご参加いただき、私たちが検討してきたことの妥当性やさまざまな疑問についてディスカッションしたいと考えています。「エピソード記述」に関心のある方のみならず、質的研究や実践に根ざした研究に関心のある方はぜひご参加ください。（「エピソード記述研究プロジェクト」メンバー同）

9月26日（土）13:00～17:00

会場：同志社大学新町キャンパス 溪水館1階会議室

プログラム

【第1部】キーノートスピーチ 鯨岡峻（中京大学客員教授）

13:10-13:40 「発達心理学領域におけるエピソード記述の現在」

13:40-14:10 質疑応答

（休憩）

【第2部】研究報告（予定）

14:10-14:40 研究報告① 市瀬晶子（関西学院大学人間福祉学部助教）

「社会モデルのパラダイムとしてのエピソード記述の可能性

—認知症高齢者のソーシャルワーク実践・研究方法として」

14:40-15:10 研究報告② 森口弘美（同志社大学社会学部助教）

「社会福祉実習におけるエピソード記述の試み」

（休憩）

15:20-15:50 研究報告③ 松本理沙（同志社大学実習助手）

「重度知的障害者のきょうだい関係におけるケアとセクシュアリティ

—ある女性きょうだいのエピソード記述を通して」

15:50-16:20 研究報告④ 小山聡子（日本女子大学人間社会学部教授）

「ドラマケーションを取り入れたコミュニケーション教育のエピソード記述による評価」

16:20-17:00 鯨岡先生のコメントと全体ディスカッション

◆ご参加の方へ◆

資料の準備の都合がありますので、参加を希望される方は事前にご一報ください。参加無料。

◆問い合わせ・申し込み◆

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター 担当：森口 弘美

電話番号：090-1157-4851 メール：hmoriguc@mail.doshisha.ac.jp

主催：同志社大学社会福祉教育・研究支援センター 共催：同志社大学社会学会（予定）